

－ソロクト・台湾補償請求事件解決記念－ ハンセン病問題の全面解決をめざす 日韓シンポジウム

入場無料

日時 **6月22日** 17:30～19:00 (17:00 開場)

場所 **弘済会館** (弘済会館東京都千代田区麴町 5-1 TEL03-5276-0333)

かつて、日本が韓国を植民地として支配していた時代。ハンセン病隔離政策は、日本の国内と同じように、いやさらにもっと苛酷に実行されていた。

日本がつくった療養所、「ソロクト（小鹿島）更生園」。ここに強制的に隔離され、苛酷な作業に苦しめられてきた人たちが、補償を求めて立ち上がった。

補償請求は難航を極めたが、今年ようやくそのすべての手続きを終えた。

この作業は、日本と韓国の両弁護団が、共に力を合わせて取り組んできた。

他方、韓国では独自に療養所内の断種・堕胎の強制に対する損害賠償請求も取り組まれた。

この間の両国での取り組みの成果を踏まえつつ、これからの課題についてさらなる協力関係を築いていきたい。

内 容

- 来賓挨拶
- 補償請求事件の経過と到達点
- 韓国におけるハンセン病問題
 - ◇ 韓国での補償請求事件の取組、断種堕胎訴訟のことなど
- 日本国内のハンセン病問題の今後の課題
(同時通訳あり)

会場案内



最寄りの駅：JR「四ッ谷駅」
地下鉄「四ッ谷駅」「麴町駅」

小鹿島更生園・台湾楽生院補償請求弁護団／韓国ハンセン人権弁護団

連絡先：菜の花法律事務所（熊本市南区江越 1-17-12 Tel096-322-7731 Fax096-322-7732）